

5月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

77,528円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	10,272円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	10,452円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	54,304円
支出計 17/5/1~17/5/31	77,528円

市政を考える 月刊武松

発行日
17/6/1

第165号

15800部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

市民ホール要求水準書案固まる!

建設費63億円以下 大ホール1100席以上 小ホール200席以上

市民ホール要求水準書(案)の建設費、施設概要等について以下に説明します。

■建設費 63億円を上限

■計画地 面積 約9720㎡ (民地は購入予定)

■施設概要

建築計画

- ・お堀端通りから20m程度の範囲には、にぎわいを創出できるスペースを配置する
- ・ホールのフライタワー(背の高い舞台空間)は、周辺地域に配慮して配置し、圧迫感を軽減
- ・にぎわいが周辺にもあふれ出るような配置計画
- ・外観は、歴史的環境を生かした質の高い都市景観の形成に寄与するもの
- ・災害時の一時的な避難所として活用できる
- ・生涯費用の低減を図れる

構造計画

- ・構造は十分な耐震性能を有した構成
- ・他の施設部分へ騒音や振動の影響を抑えた計画

大ホール系機能

芸術文化創造センターと同程度の舞台仕様を求めることで、ホールとしての質を確保する。また専用の搬入口を設ける。

- ・客席数：1100席以上
- ・楽屋：6室以上
- ・舞台寸法：8×8間(14.56m×14.56m)以上
- ・その他：オーケストラピットを設置

小ホール系機能

市民の使用を主とし、大ホールのリハーサルや展示系機能や創造系・支援系機能等を補完する。

- ・客席数：移動型客席数200席以上、最大300席
- ・楽屋：3室以上
- ・舞台寸法：6×5間(10.92m×9.1m)以上
- ・その他：フライタワーは小規模なものとする

展示系機能

平面作品だけでなく、多様な表現を持つ現代の芸術作品、立体作品の展示に対応するものとする。また、小ホールの平土間やオープンロビーなどを利用



▲図1 市民ホール計画地

することにより、これまでの展覧会の開催を可能とする展示スペースを550㎡以上確保する。

- ・想定面積200㎡以上
- ・有効天井高4.0m以上

創造系・支援系機能

- ・小ホールのリハーサルやワークショップも行える
中スタジオを1室及び小スタジオを3室配置

交流系機能

- ・オープンロビー：展示としても利用できる
- ・カフェ等

管理系機能、その他

- ・管理系機能：管理事務室、機械室、倉庫
- ・その他：託児など多目的に利用できる場所を確保

外施設

お堀端通り側のアプローチ広場は、にぎわいが感じられ、人々が集い、交流が生まれる計画とする。

駐車場は、敷地内は業務用。車ででの来場者は周辺の駐車施設の利用を基本とする。ただし、車いす利用者用駐車場は配置するとともに、高齢者や障害者の送迎について配慮する。

議長辞任挨拶要旨他

5月23日の小田原市議会5月臨時会で議長辞任挨拶をしました。以下発言の要旨と実施できたことを列記します。

■辞任挨拶要旨

- ・一身上の都合により議長の職を辞させて頂く。
- ・改選後の臨時議会において、議長という大任をいただき早2年、その職を何とか全うできた。
- ・皆様方の御協力の賜物と心から感謝申し上げます。
- ・モットーは、「リスクを恐れず一歩前へ」
- ・議員の皆様は4点約束した。

1 議会報告会の充実

- ・平成27年度は、議決の結果報告に加え、小田原駅周辺の機能配置についてテーマ設定し、ハルネ広場での開催が出来た。
(井上昌彦 広報広聴常任委員長)
- ・平成28年度は、市議会シンポジウムとして専門的知見の活用と特別委員会の市役所外、休日夜間開催という新たな形で実施。
(今村洋一 県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員長)
(鈴木敦子 広報広聴常任委員長)

2 継続的に改革検討できる仕組みづくり

具体化はできず。課題に対し適宜対応した。

- ・報道機関の傍聴方法の見直し
(佐々木ナオミ 議会運営委員長)
- ・小田原城天守閣リニューアル初日の入場料を熊本城へ寄付する際の先決処分の内諾（会派代表者）
- ・県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会の設置（代表者会議）

3 積極的な情報発信

市議会ホームページにおいて

- ・政務活動費支出一覧表の掲載
(大村学 議会運営委員会委員長)
(井上昌彦 広報広聴常任委員長)

- ・常任委員会と特別委員会の審査資料の掲載
(大川裕 広報広聴常任委員長)
- ・常任委員会の映像配信
(井上昌彦 広報広聴常任委員長)
(鈴木敦子 広報広聴常任委員長)

4 前期からの課題の早期検討

- ・本会議場への国旗と市旗の設置（代表者会議）
- ・予算及び決算特別委員会の審査方法見直し
(井原義雄議長、俵鋼太郎 議会運営委員長)
(井原義雄議長、奥山孝二郎 議会運営委員長)
(大村学 議会運営委員長)
- ・これらは、全て、図らずも私が議長を務めている間に結果が出たものである。
- ・その多くは、10年以上前から歴代議長を中心に各議員が真剣に検討されてきたものである。
- ・改めて、皆様方のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

■対外的な活動

- ・小田原市や小田原市議会へ視察が増えており、2年間で行った視察対応は挨拶のみも含め20回
- ・議会改革の視察も多く、事務局の説明の後、質疑に回答した。
- ・その中で幾つかの市が、視察後に広報広聴委員会の常任委員会化、議会報告会の実施方法や電子端末の持込など実践され、議長会等でお会いした際に感謝の言葉を頂いた。
- ・各議長会への出席や姉妹都市との交流、カリフォルニア州チュラピスタ市との姉妹都市提携35周年記念訪問等、海外や全国を回った。

■最後に

- ・議員各位には色々とお迷惑をお掛けした部分もあったかと思う。
- ・充実した毎日を送ることができた事に心から感謝を申し上げ、退任の挨拶とする。

どうもありがとうございました。

武松政策研究会からのお知らせ

6月の武松忠議会報告会について

日時 6/24(土) 18:00～

場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「市民ホール要求水準書について」

参加費 100円

終了後 懇親会を行います。



5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →

HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで